

「自立」「共生」「貢献」



福生一中ホームページ

福生市立福生第一中学校

一中だより

<http://fussa-1j.hs.plala.or.jp>

福生市熊川845

電話 042 (551) 0321

FAX 042 (530) 7447

第5号

令和5年8月29日発行

## 「共生」・「発展」の2学期とするために

(2学期始業式副校長講話より)

副校長 田中 洋介

長い夏休みが終わりました。今年の夏休みは、コロナ流行以降久々に行動制限のない夏休みになりました。福生では、七夕祭りが4年ぶりに開催され、約53万人と過去最多の来場者数だったそうです。私も巡回いたしました。すごい熱気で、特に福生駅前などは歩くことも難しいほどの賑わいでした。また、町会の夏祭りもこれまた4年振りに行われ、各会場を回ると、一中の生徒もお囃子や神輿担ぎに参加している様子などを見かけ、大変嬉しく思いました。今年は連日気温35度を超える記録的な猛暑で、日中外で活動するのは危険な暑さでしたが、そんな中でも、機会を見つけて、一中生が充実した夏休みを過ごしていただけたら嬉しいです。

「自立」「共生」「貢献」。この三つの言葉は、福生一中の教育目標のキーワードです。わかりやすく言うと、生徒一人一人が「自立」し、互いに尊重し「共生」しながら、物事や社会に「貢献」できる人間を育成しよう、という意味が込められています。今年度は、教職員が話し合い、特に「自立」を重点目標とすることに決めました。生徒一人一人が「自立」していなければ、お互いに真の意味で「共生」することはできないという理由からです。2学期は、全校行事として福生一中の二大行事の一つである合唱コンクールがあります。各学年でも3年生は修学旅行の実施、2年生は校外学習、1年生はスキー移動教室の取組が始まります。これらの行事はすべて、一中生全員が力を合わせ、「共生」して成功させなければならない行事です。

1学期の終業式で、1学期は「基礎」の学期、2学期は「発展」の学期だと生徒に言いました。2学期を、一中生が互いに「共生」し「発展」の学期としていくためには、生徒一人一人の「基礎」がきちんと固まっている、「自立」していることが不可欠です。今、一中生の「基礎」はしっかりとできているか。1学期、そして夏休みを通じて、生徒が皆一人一人、自分で考え、判断し、行動できる生徒になれているか。「共生の2学期」、そして「発展の2学期」とするために、まずは生徒一人一人が自分自身の「自立」＝「基礎」がしっかりとできているか、確認させるところから始めていきます。

【お知らせ】沼田博明校長につきましては、病気のため、しばらくお休みをいたします。当面は田中洋介副校長が校長の職務を代行いたします。御了承ください。

福生一中ブログほぼ毎日更新中!

一中生の全国大会出場に関する事など、学校生活の様子はこちらから御覧ください!⇒

